

27) 栄養部

1. 組織及び構成員

科長 塚田芳枝

主任 小田浩之、中村未生

係員 12名（管理栄養士）

パート職員 1名（管理栄養士）

計16名

<資格認定などを受けている管理栄養士>

糖尿病療養指導士 10名 病態栄養専門師 4名

NST専門療法士 8名 NSTコーディネーター 1名

<給食運営>

病院給食は全面委託（株式会社レパスト）である。

なお、委託業務は、患者食の食材発注、調理、盛付、配膳、下膳、食器洗浄、調乳である。

1. 栄養部の理念・基本方針・目標

<理念> 患者さんの立場に立って、あたたかい心のかよう栄養管理を行う

<基本方針> (1) 病状に応じた適切なフードサービスを提供する
(2) 患者さんの食生活に配慮し、実践可能な栄養相談を行う
(3) チーム医療に参画する

<目標> (1) 安全・安心な食事の提供
(2) 患者さんが行動変容を起こす栄養相談の実践

2. 特徴

患者食の提供においては、「食の安全性」を最重要課題としている。また、食事は治療の一環であるとともに患者サービスの一環でもある。これらを踏まえて、患者食の提供に努めている。患者食は、平成19年8月に厨房を移転したのを機に、他病院に先がけ新調理システム（ニュークックチルシステム）を導入した。このシステムの導入で、食事の温度についての評価が格段に向上し、現在もその評価を維持している。

また、栄養指導では、患者が自ら実践できる指導内容を心がけるとともに指導件数の増にも取り組んできた。これまで、土曜日の栄養指導ブースの増設や入院患者の栄養指導を医師がフレキシブルに依頼できる予約枠の設定などを行ってきた。結果、栄養指導件数は比較的高い数値で推移している。

病棟活動については、栄養管理上問題のある患者の抽出や食事摂取不良患者に対する支援を中心に展開している。患者支援のための食事としては、「あんず食」（フルセレクト食）や「ハーフ食」（食事量減量の上で、患者の希望食品を追加が可能）が当院の特徴となっている。

3. 活動内容・実績

<フードサービス>

(1) 食数

平成26年度：704,926食（平成25年度：718,544食）

前年度比：98.1%

(2) 食種内訳

食 種	食 数	比 率	食 種	食 数	比 率
常食（成人）	292,285	41.5%	エネルギー調整食	103,403	14.7%
常食（幼児～中学生）	11,443	1.6%	たんぱく質調整食	37,977	5.4%
軟菜食（成人）	47,900	6.8%	貧血食	296	0.0%
軟菜食（幼児～中学生）	1,016	0.1%	嚥下食	33,573	4.8%
五分菜食	9,000	1.3%	脂肪制限食	10,544	1.5%
三分菜食	5,790	0.8%	潰瘍食	4,333	0.6%
流動食	6,948	1.0%	消化器術後食	15,825	2.2%
離乳食	4,216	0.6%	低残渣食	6,047	0.9%
調乳	10,510	1.5%	濃厚流動食（経口）	9,446	1.3%
ハーフ食	36,519	5.2%	濃厚流動食（経管）	41,170	5.8%
あんず食	14,510	2.1%	その他（検査食、等）	2,175	0.3%

(合計：704,926食)

(3) 治療食加算率の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
治療食加算率	22.0%	23.6%	26.0%	25.3%

(4) 行事食の提供

元旦のおせち料理や、クリスマスのローストチキン等、年25回実施した。

(5) 患者食の評価

入院患者を対象とした嗜好調査を年4回実施している。平成26年度に実施した嗜好調査では、満足度について、『満足・やや満足』50%、『普通』33%、『やや不満・不満』13%、『無記入』4%の評価であった。

<クリニカルサービス>

(1) 栄養指導枠の設定

- ① 個人栄養指導 月～金曜日 9時～17時（予約制）・・・3ブース
土曜日 9時～13時（予約制）・・・2ブース
- ② 集団栄養指導 糖尿病教室（毎週火曜日）
- ③ その他 乳児相談（毎週月曜日）
人間ドック（月～金曜日）

(2) 栄養指導件数

	平成26年度	平成25年度	前年度比
個人栄養指導（入院）	1,895件	1,643件	115.3%
個人栄養指導（外来）	7,167件	6,355件	112.8%
糖尿病教室	301件	322件	93.5%
乳児相談	218件	253件	86.2%
人間ドック	1,194件	1,223件	97.6%
合計	10,775件	9,796件	110.0%

(3) 個人栄養指導（入院・外来）疾患別内訳

疾患名	件数	疾患名	件数
糖尿病	4,872件	膝疾患	23件
糖尿病性腎症	570件	腎疾患	1,236件
妊娠糖尿病/糖尿病合併妊娠	352件	脳梗塞	7件
肥満症	140件	心疾患・高血圧	728件
脂質異常症	268件	消化器術後	211件
痛風・高尿酸血症	35件	胃腸疾患	129件
肝疾患	172件	鉄欠乏性貧血	57件
胆嚢疾患	33件	その他	229件

(合計：9,062件)

(4) 病棟活動件数（ベッドサイド栄養管理）

	平成26年度	平成25年度	前年度比
栄養士単独による活動	19,119件	16,627件	115.0%
NSTとの協働による活動	1,488件	1,386件	107.4%
合計	20,607件	18,013件	114.4%

4. 自己点検と評価

フードサービスについて、嗜好調査から得られた患者評価によれば、患者食の質は維持できたと考えられるが、患者サービスの更なる向上を目指し今後も検討していくことが重要である。採算性の面においては、治療食加算率が伸びなかった。引き続き、アナウンス等を行い治療食加算率のアップに向け働きかけていく予定である。

クリニカルサービスにおいては、平成25年度に引き続き、栄養指導件数を増加することができた。要因としては、入院患者に対する栄養指導依頼の獲得に努めたことが挙げられる。また、病棟活動件数も、平成25年度に引き続き増加傾向にある。これにより、食事調整を必要とする患者の発見や対応が、より迅速に行えるようになったと考える。今後も課題としていきたい。